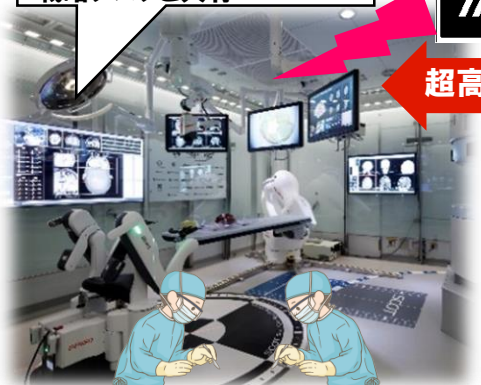


モバイル診療車

場所や時間を問わず高水準で安全な診断・治療環境を提供。執刀医とモバイル戦略デスク医師間で合意形成しながら高度手術遂行する。

医療機器をネットワークで接続し・可視化情報をモバイル戦略デスクと共有



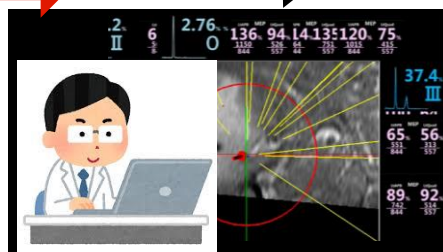
執刀医

モバイル戦略デスク

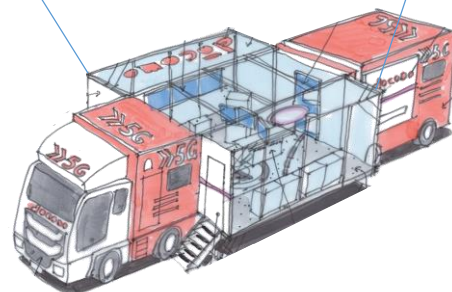
経験豊富な医師が管制塔として手術全体を監視。5Gにより出張先や移動中でも、俯瞰した立場から執刀医に助言を与えることができる。

5G

超高速通信



経験豊富な専門医師



提供価値

高速大容量

低遅延

多数端末接続

実証実験/PoC段階

- 有事の際に病院搬送が困難な場所でも高度な診断・治療を実施できる。
- 経験豊富な医師がどこにいてもモバイル戦略デスクを通じて手術をサポートし遠隔医療支援を実現する。
- 地方などの過疎地域においても高水準な医療を提供可能。

概要

- 東京女子医科大学では、手術室内の医療機器のネットワーク化・可視化により安全で高度な医療を実現するスマート治療室 (SCOT[®] : Smart Cyber Operating Theater[®]) を開発している。
- SCOT[®] に5Gの高速大容量・低遅延通信を応用することで、“いつでもどこでも高い水準の安全な医療”が受けられるようになるように“Mobile SCOT”の開発を続けている。
- 実物大のConcept Carを作り、株式会社OPEX PARKの協力のもと、OPeLiNK[®]と5Gを接続した遠隔スマート治療支援システムの実証試験を計画中。

※SCOT[®]は、学校法人東京女子医科大学の登録商標です。

※OPeLiNK[®] (オペリンク)は、OPEX PARKの登録商標です。

コラボレーションパートナー

- 東京女子医科大学 : SCOT[®]による最先端の臨床研究を推進。
- 株式会社OPEX PARK : SCOT[®]内情報プラットフォームOPeLiNK[®]を開発。
- シャープ株式会社 : 超高精細8K内視鏡を開発。
- ミズホ株式会社 : 手術台、无影灯、支持アームのConcept Car収容へ協力。
- キャノンメディカルシステムズ(株) : 高性能エコーへの5G接続に協力。
- 日本光電工業電株式会社 : ベッドサイドモニターへの5G接続に協力。

